

令和4年度全日本少年少女武道（少林寺拳法）錬成大会要項

- 1 趣 旨** 全国の小・中学生を対象に、基本錬成を主眼とした、少林寺拳法（技法）の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。
- 2 主 催** 公益財団法人日本武道館・一般財団法人少林寺拳法連盟
- 3 後援（予定）** スポーツ庁・日本武道協議会
- 4 期 日** 令和4年8月6日（土）
 <午前の部> 8時30分開場 午前 9時50分開会式 午後12時15分閉会（予定）
 <午後の部> 12時50分開場 午前14時00分開会式 午後16時30分閉会（予定）
- 5 会 場** 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5100（代）
- 6 テ ー マ** 「力愛不二（りきあいふに）～自分を信じて～」
- 7 参加資格** 本大会に際し、健康上支障ないと認められた小・中学生で、（一財）少林寺拳法連盟の個人会員であること。なお、障がい者の出場に関しては、実行委員会までお問い合わせください。**※未就学児童の参加はできません。**
- 参加条件** 参加者は、保護者の参加同意書（別紙参照）を必ず所属長宛に提出してください。

- 8 錬成内容・対象** （1）基本錬成：基本諸法、基本突き、蹴り、単独基本演武等を行い体と心を鍛錬する。
※基本錬成は、マスク着用により実施する。気合は無し、含み気合いは可。
※基本錬成のみでも参加は可能。資格・学年・性別は不問。
- （2）演武錬成：

種 目		対 象	演武時間
規定 組演武	小学生1級の部	学年、男女不問	制限なし
	〃 2級の部		
	〃 3級の部		
	〃 4級の部		
	〃 5級の部		
	〃 見習い～7級の部		
自由 組演武	中学生有段の部	学年、男女不問	1分30秒～2分
	〃 段外の部		
	小学生有段の部	学年、男女不問	1分～1分30秒
規定 単独 基本 演武	見習い～7級の部	小学6年生以下で見習い～7級まで	制限なし
	6級～5級の部	小学6年生以下で6級～5級まで	
	4級の部	小学6年生以下で4級	
	3級～1級の部	小学6年生以下で3級～1級	

団体 演武	中学生の部	学年・有段・段外・男女不問	1分30秒～2分
	小学生の部	学年・有段・段外・男女不問	1分～1分30秒

※演武錬成に出場する拳士は、基本錬成にも参加すること。

※今大会は、重複出場はできない。

※演武錬成中、マスクは着用しない。※着用も可。演武錬成以外は、終日、マスク着用。

※気合いは「無し」、ただし「含み気合い」は可。

9 演武内容

（1）組演武

（ア）演武は、2人の組演武とする（3人掛不可）。

（イ）小学生の段外者は、規定組演武に参加する（ただし、有段者と組む場合は除く）。

→別紙「規定組演武内容」参照

（ウ）中学生と小学生の有段者は、自由組演武とし、演武者各個人の守者側の資格に応じた範囲内の技で構成する。ただし、小学生で初段の拳士が使用できる技は、二段科目（一般初段の習得科目）までとする。自由組演武の構成は、6構成とする。使用禁止技は、後述（5）のとおり。

（エ）2人の資格が違う場合は、上級者の資格の部へ参加する。中学生と小学生の組み合わせは、中学生の部へ参加する。

（オ）自由組演武は、原則として、同資格の拳士と組んで参加する。やむを得ず他資格の拳士と組む場合は、守者の資格に合わせて攻者が攻撃する。

（カ）胴着用は可。武器・法器の使用は禁止する。

（2）団体演武

（ア）構成人数は、6名または8名とする。

（イ）1構成目と6構成目は単独演武、2～5構成目は組演武をもって編成する。

この条件に合わない場合は、総合点から10点減点とする。

※ここでいう組演武は、2人1組で行うものとする。

※三人掛演武を行った場合は、失格とする。

※「団体演武 小学生の部」における使用技については、参加者の内、最上級資格者の科目までを使用可とする（ただし、小学生の使用禁止技・宙で回転する受身等を除く）。

※今大会において、団体演武は組演武または単独基本演武との重複出場はできない。

（ウ）単独演武は、以下の単独演武基本法形より、1構成目と6構成目でそれぞれ1技選択し、一方向のみ行う。

天地拳第一～六系、義和拳第一、二系、龍王拳第一、三系、龍の形（逆小手）、紅卍拳、白蓮拳第一系

（エ）使用できる技は、参加者の内、最上級資格者の科目までとし、構成は6構成とする。

（オ）「団体演武 小年生の部」で、初段拳士が参加している場合、使用できる技は、二段科目（一般初段の習得科目）までとする。使用禁止技は、後述（5）のとおり。

（カ）胴着用は可とする。武器・法器の使用は禁止とする。

（キ）中学生の部については、合図的な動き・気合を不可とし、総合点から5点減点する。

（ク）小学生の部については、号令・気合を合図として用いることを可とする。

（ケ）演武時間については、左記表に記載のとおり。

（3）単独基本演武 →別紙「単独基本演武内容」参照

※単独基本演武（全種目）の対象学年は、小学6年生以下とする（中学生は参加不可）。

（4）その他

（ア）規定組演武、自由組演武、団体演武への参加は、原則として同一所属の拳士同士の組み合わせとする。※ただし、異なる団体で同一所属長の場合は除く。

（イ）各所属の参加組数について、規定組演武、自由組演武、団体演武については制限なしとする。

裏面もご覧ください

(ウ) 参加者は、申込後、昇級、昇段しても申込時の種目(資格)に参加する(帯の色、資格章等についても、上記に準ずる)。

(5) 使用禁止技

(ア) 小学生の使用禁止技

・肘抜より前天秤・送巻天秤・逆手投・龍投・外巻天秤・切返天秤・切返巻天秤・巻十字小手・上受逆手投
・逆天秤・腕十字固・天秤固・送天秤捕(二種)・吊上捕・吊落・袖巻天秤・外巻落・刈足・後刈倒
・投げ技に対し宙で回転する受身(身体すべての部位が、地面から離れる受身)

(イ) 「投げに対し宙で回転する受身」については、中学生も使用禁止技とする。

(ウ) 禁止技を使用した場合は、総合点から15点減点する。

10 競技規則並びに審判規則 本大会の演武錬成並びに審判については、(一財)少林寺拳法連盟競技規則・審判規則に基づく。

11 演武の評価 演武錬成では、出場拳士の演武終了後、ただちに評価を明示する。一定水準以上の組には、優秀メダルを授与する。

12 記念品 参加者全員に、記念品を贈る。また、本大会出場者全員に参加証を渡す。

13 申込方法

(1) インターネットまたは郵送のどちらかで申し込むこと(併用厳禁)。

《インターネットの場合》

詳細は、別紙インターネット参加申込受付案内を参照のこと。

《郵送の場合》

別紙申込用紙に所定事項を記入の上、郵送すること。

申込先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館振興課少林寺拳法係宛

(2) 申込締切 令和4年6月6日(月)(消印有効)

※少林寺拳法連盟への入会、兼籍手続きをお済ませの上、お申し込みください。

(3) 参加費 演武錬成及び、基本錬成に参加の場合 1人……900円

基本錬成のみの参加の場合 1人……400円

①同封の振込依頼書で申込締切日までに送金のこと。

②依頼人欄に申込書左最上部に記載されているコードNo・都道府県・団体名(フリガナ含む)を必ず記載のこと。振込依頼書を使用しない場合も同様の事項を入れること。

※一旦納入された参加費は、返金いたしません。

(4) 振込先 三菱UFJ銀行 神田支店 普通預金 3817509 ニッポンブドウカントクベツカイケイショウリンジケンボウグチ 日本武道館特別会計少林寺拳法口

14 参加服装 全員道衣を着用すること。参加者は、背中(縫目下)に白地に黒で所属する都道府県名を書いたゼッケンをつけること(サイズ:縦10cm×横20cmの長方形/各所属にて作成のこと)。少林寺拳法競技規則に定められた服装規定違反がある者については、出場を認めない(受賞対象外とする)。

15 安全対策 安全管理には万全を期するが、大会中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。病院等で診療を受けた場合には、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。健康保険証(コピー可)を持参のこと。日本武道館では武道大会傷害保険に加入している。※条件として大会担当医の診断を受けるものとする。

16 感染症対策

(1) 別紙、『新型コロナウイルス感染症対策について』及び『団体責任者・参加者・保護者等遵守事項』を必ず一読のこと。

(2) 演武競技中、コートの消毒を頻繁に実施する。

(3) アリーナ(大道場)、サブアリーナ(中道場)以外、裸足での移動は、禁止する。

➡各自で靴袋を持参しアリーナに入る際、袋に入れ、スタッフの指示に従うこと。

(4) 館内において、途中で体調不良になった場合、主催者側の指示に従うこと。

(5) 感染症防止の為、館内での食事は、禁止とする(大会スタッフ、関係者を除く)。

➡中道場棟(南口)「レストラン武道」をご利用ください。

(6) 入場料は無料。感染症防止の為、観客席は地区ごと内での指定席を予定している。座席を紐で囲うこと等の行為は禁止する。

(7) 保護者については、人数の制限を行う。所属長、引率者とは別に、保護者の人数は、参加者1名につき、保護者1名とし、保護者の健康管理カードを提出すること(詳細は、参加団体宛に送る書類を参照のこと)。

17 その他

(1) 今大会における、主座・打棒者、基本指揮者の募集・若葉記者(会報少林寺拳法の記者)の募集はありません。

(2) 参加する所属には、7月中旬頃に大会実施要項を郵送いたします。

(3) 日本武道館公認の報道機関等が撮影した写真が、報告書、新聞、雑誌、関連ホームページ等で公開されることがあります。

(4) 日本武道館公認の報道機関等が撮影した映像が、録画放映及びインターネットで配信されることがあります。

18 注意事項

(1) 本大会は、新型コロナウイルス感染症による感染状況、その他、自然災害等により、大会直前であっても開催を中止する場合がございます。

(2) 開催中止となった場合、参加費は日本武道館より返金します。ただし、交通費、宿泊費などに関わるキャンセル料等については、主催者はそれらの費用について一切負担いたしません。

(3) 主催者が加入する保険では、新型コロナウイルス感染症は適用外となります。また、参加者の感染に対して、重大な過失がある場合を除き、主催者は責任を負いません。

【参加費の振込、インターネットでの申込に関する問合せ先】

公益財団法人日本武道館 振興部振興課 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3

TEL: 03-3216-5134 (土・日・祝日を除く 午前10時~正午・午後1時~午後5時)

【上記以外の問合せ先】

一般財団法人少林寺拳法連盟 全日本少年少女武道錬成大会 実行委員会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-17-5 TEL: 03-5961-2190 (土・日・祝日を除く午前9時~午後5時)

Email: rensai@shorinjikempo.or.jp (メールでの参加申込はできません)